海外安全対策情報(令和4年4月~6月)

1 社会・治安情勢

この期間のベラルーシ国内の治安情勢に関しては、おおむね落ち着いています。一方で、2020年8月に実施された大統領選挙以降、数か月にわたって各地で抗議活動が行われました。 抗議活動参加者と治安部隊の衝突により、多数の集会参加者等が拘束され、死傷者も発生しました。現在も散発的にインターネット等で抗議活動が呼びかけられており、治安当局の取締りが行われています。ベラルーシに滞在中の方は、常に報道等により最新情報の入手に努めるとともに、抗議活動が行われている場所や群衆が集まる場所には近づかない、外出時は旅券等身分証明書を所持するなど、十分注意して下さい。

また、2022年2月24日以降、ロシアによるウクライナ侵略に伴い、ベラルーシ情勢についても予断を許さない状況が続いております。日本国外務省はベラルーシでの滞在に関し、ウクライナとの国境周辺地域にレベル4(退避勧告)、国境周辺地域以外のベラルーシ全土にレベル3(渡航中止勧告)を発出しております。渡航を避けると共に、滞在中の邦人の皆様におかれましては、早期の出国をご検討下さい。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

キ 重傷傷害

(1) 2022年3月にベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2021年のベラルーシにおける犯罪総数は87,696件で、前年と比較し8.2%減少しています。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

ア 窃盗 25,369件(前年比7.2%減)

(うち住宅対象侵入窃盗)7,178件(同8.1%減)

イ 公然窃盗 1,268件(同2.8%増)

ウ 恐喝 317件 (同20.4%減)

工 詐欺 4,744件 (同10.6%増)

才 暴力犯罪 3,974件 (同1.6%減)

カ 殺人及び殺人未遂 297件 (同4.8%減)

718件(同4.9%減)

ク 強盗 84件(同3.7%増)

) JAIII. (1,10.1,10.1)

ケ 強姦及び強姦未遂 85件 (同32.8%増)

(2) 邦人被害事案は報告されていません。

(3) 2022 年 4 月~6 月における主な事件は以下のとおりです(当地の報道から作成)。

ア 4月25日報道。ミンスク市フルンゼンスキー地区内務局に19歳男性が訪れ、公園で見知らぬ男に理由も無く暴行されたと話した。この男性の話によると、プリティーツキー通りの公園で仲間と休んでいた男が、(通りがかりの男性の)髪型が気に入らない事を理由に、装飾品をもぎ取り、拳で顔面を殴りつけたとのこと。また、暴行の後、犯人の男は被害者から電話番号を聞き、再び見つけ出してクラシックスタイルの髪型になっているか確認する事を約束したとのこと。捜索により、27歳のミンスク州住民が逮捕された。

イ 5月26日報道。ミンスク市。30歳男性の元に、5月初めにアプリを通じて知り合い、SNS上で交際していた女性から映画のチケット購入サイトのリンクが送付された。男性が、上映タイトルを選択し、支払のため銀行カード情報を入力したところ、エラーが表示され、金額は引き落とされたがチケットは未購入のままであった。サポートセンターからもう一度手続きを行うよう助言され、さらに150ベラルーシルーブルが引き落とされた。このことについて彼女へ連絡しようとしたところ、ブロックされている事に気づき、警察へ通報した。知らない者から送付されたリンクは開かず、過去に支払を行ったことの無いサイトであれば、サイトの詳細について電話で問い合わせるなどの対策を警察は注意喚起している。

ウ 5月26日報道。年金受給者に対して電話口で、彼らの子供が危険な状態にあるため、 その救助のために多額の現金を配達員へ渡すように要求すると言う新たな詐欺の手口が発生している。5月20日には、同様の手口で女性から15,000ドルの現金をだまし取ると言う 事件が発生した。被害者の娘によると、母親が詐欺被害に合っていた時間帯に電話をする もつながらず、また、身内しか知り得ない情報を利用して犯人が犯行に及んだことから、 電話が盗聴されている可能性を疑い、通信会社へセキュリティの精度について問い合わせ ているとのこと。

エ 6月23日報道。ミンスク市。乗用車を運転していた47歳女性が、ゴロドスコイ・ヴァル通りをネミガ通りへ向け走行していたところ、横断歩道を渡っていた歩行者の女性をはねた。歩行者の女性は負傷し、医療機関へ搬送された。

オ 6月29日報道。ミンスク市ザヴォードスキー地区のチジョーフカ団地において、男が小学生女児を地面に押し倒し、暴行を加える事件が発生した。女児は、目撃者によって通報を受け、駆けつけた救急によって病院へ搬送され、治療を受けた後に退院した。捜査により、すぐに犯人が逮捕された。35歳無職で、過去に殺人未遂や財産横領の前科がある男だった。

- 3 テロ・爆弾事件の発生状況なし。
- 4 誘拐・脅迫事件の発生状況 なし。
- 5 日本企業の安全に関する諸問題なし。

※上述の事案は全体の中の一部の情報です。定期的に報道などを確認し、自身の安全確保に努めてください。